



はたらくネット

発行年月 平成23年6月

編集・発行 仙台市障害者就労支援センター

～震災後の就労支援～

仙台市障害者就労支援センター所長 諸橋 悟

3月11日の大震災から3カ月経過しました。

あの激しい揺れと津波によって多くの方がいたましくもお亡くなりになり、家屋の損壊を始め、多くの市民の方が被害を受けました。まだまだ深い心の痛みや生活の困難さを抱えておられる方が多数かと思えます。皆様に心よりお見舞い申し上げます。また阪神・淡路大震災の経験をなされた関西圏や首都圏の福祉サービス事業所、企業、障害者就労支援団体の方々から、励ましやお見舞いのお言葉を頂きました。本当に有難うございます。

仙台市障害者就労支援センター（以降「当センター」）は、被災状況や安否の確認のために、多くの企業の担当者の方、福祉サービス事業所や就労中の皆様に連絡を取らせていただきました。それぞれの方々が大変な状況にある中、こころよく応じていただいたことに感謝申し上げます。当センターでは、4月に自宅待機や解雇になった方を対象に「はたらく障害者のつどい」を4回行いました。また、休業手当補償の手続きにあたって企業の相談や雇用している方の安否確認や雇用安定のための支援を共に進めさせていただきました。現在、多くの方が職場復帰している一方、特別支援学校の卒業生など未だ就職に至っていない方もおられます。このような状況ではありますが、求職中の方のフォローと新たな働く場の確保が大変大事な課題となっております。震災後、街が落ち着きを取り戻しつつある中で、求人数も増えつつあります。当センターは、働きたいと願う障害のある方と雇いたい企業の「懸け橋（かけはし）」として、その役割をしっかりと果たしていきます。 みんなの力を合わせて、おっきな輪を作り、一歩いっぽ進みましょう！

復興へ、頑張ろう仙台！～「神戸市障害者就労推進センター」の皆さまからメッセージをいただきました～

大震災から2カ月あまりが経ちました。被災地で暮らす多くの障害者やそのご家族の心中を察しますと、阪神・淡路大震災を経験した私たちは居ても立っても居られない気持で一杯です。その一方で、報道を通じて皆さんの粘り強さやお互いに支え合う姿に接し、逆に私たちの方が勇気づけられています。大震災により職を失った方、自宅待機になった方、不安は大きいだろうと思えます。阪神・淡路大震災を経験してきた私たちは、一歩一歩、一日一日の積み重ねが復興につながっていくものと確信しています。一日も早く皆さんの笑顔が戻りますよう、そして「一人でも多く、一日でも長く」一般就労できますよう、遠く神戸の地から応援しています。

目次

- 所長あいさつ～震災後の就労支援～&応援メッセージ …… 1ページ
- 企業に聞きました～アストモスエネルギー株式会社～ …… 2ページ
- クローズアップ おっきな輪～NPO法人グループゆう ワークスペース歩° 歩° (ぽぽ) ～ …… 3ページ
- スタッフ紹介&利用案内 …… 4ページ

企業に聞きました

～アストモスエネルギー株式会社～

●営業本部 リテール統括部 廣田 邦幸様

●アストモスアカデミー東北担当 木村 紋子様

にお話を伺いました。

【会社紹介】

アストモスエネルギー株式会社は、主に液化石油ガス（台所のコンロやお風呂のお湯を沸かすために使う燃料：LPガス）を輸入販売している会社です。

この会社の研修施設「アストモスアカデミー東北」は、アストモスグループ（販売会社、特約販売店）のリテール販売活動に向けた各種研修を行っており、東北（仙台市）と九州（久留米市）の2カ所に設置しています。

○「アストモスアカデミー東北」における

業務委託のきっかけは？

元々障害者雇用に関しては積極的に行っておりますが、それとは別にアストモスアカデミー九州で知的障害者の施設へ清掃業務を委託したことがきっかけでした。そして「地域に何か貢献できる事は無いか」と考え、仙台においても障害者施設に業務委託（清掃）する事を決めました。下請会社から「仙台市障害者就労支援センター」の情報を知り市内にある複数の福祉サービス事業所をご紹介頂きました。そして見積書の提示や支援者との面談を実施し、「ピアサポートセンターそら」に清掃業務を委託することになりました。

業務委託するにあたって、事前に支援者と情報交換、打合せを重ね、平成23年2月25日から業務開始となりました。（廣田様）



支援者の指示で清掃をする「ピアサポートセンターそら」のメンバー

○障害のある方と一緒に働く際のポイントは？

障害があるから仕方がない、できなくて当たり前と思わず、一人の同じ仲間として接する事が大切。不満を持って接していると必ず問題は発生します。遠慮は禁物。業務委託については、支援者と密に情報交換をすることが重要です。

また、障害のある方と関わるようになり「障害のある方の就労」を特集したテレビ番組を見る機会も増えいろいろ勉強させられました。このように興味を持っていくことも大切だと思います。（木村様）



アストモスアカデミー
東北担当
木村 紋子様

○これから雇用を考える企業へ伝えたいことは？

障害のある方には色々な方がおられます。健常者の方にも色々な方がおられます。誰しも好き好んで障害を持ったわけではありません。いつ自分が障害を持つか、わかりません。同じ人として手を取り合っていく事が大事だと思います。（廣田様）

○これから働く事を希望している障害のある方へ 伝えたいことは？

働く事に決して臆してはいけません。世の中には皆さんを必要としている仕事は必ずあります。そして一緒に働いてくれる仲間もいます。楽しく生きるためにまず一步を踏み出しましょう。自信をもって企業と関係を作れるといいと思います。（廣田様）

○障害のある方の就労を支援するスタッフへ 伝えたいことは？

障害のある方が希望や夢を持てるような支援をしてください。一般社会にもっとアピールしてください。大変なのはわかっています。どれだけ協力できるのかわかりませんが、私共のように、訓練を希望する施設に協力できる企業は他にもあります。頑張ってください。（廣田様）

（※平成23年2月に取材させていただきました）

クローズ アップ

おっきな輪



□活動内容について

平日	<作業実習> ・メール便の配達 ・お弁当作りと販売 ・お菓子作り ・「キッチン歩°歩°」での接客など	<その他> ・S S Tなどのグループワーク ・企業見学 など
土曜日	・利用者企画による余暇活動を実施 (カラオケ、食事会など)	

(注) S S T (Social Skills Training=生活技能訓練)とは、自分らしく生活していく上で役立つ技能を身につけられるよう理論的・系統的に構成された訓練プログラムです。

□就労者インタビュー

「ワークスペース歩°歩°」での訓練後、平成21年11月から太白区にあるレストランにて就労中の「T様」にお話を伺いました。

(3月11日の震災時も仕事だったそうです。)

～震災発生時の様子をお聞かせください～

厨房内での仕事なので、週末に向けての仕込みをしていました。他のスタッフと一緒に避難しました。

～1ヶ月以上自宅待機をしたそうですが店舗再開時様子はどうでしたか?～

営業再開を待っていたお客様がたくさん来店しました。日曜日のような忙しさが1ヶ月くらい続いて大変でしたがスタッフ一丸となり乗り切りました。

～今後の目標をお聞かせ下さい～

「調理」に挑戦したいです!!

常に笑顔の絶えないT様です。「日曜日のような忙しさ」を1ヶ月間経験し大きな自信に繋がっているように感じました。これからも頑張ってください!!



就労支援員の佐藤様(左)とT様(右)定期的に近況報告など面談を行っています。

仙台市障害者就労支援センターでは、就労移行支援事業所等の関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または現在働いている方の支援を行っております。その一環として機関誌では様々な就労移行支援事業所の特色や各就労移行支援事業所等からの就労者の動向などをシリーズで紹介しています。

今回は、

「NPO法人グループゆう

ワークスペース歩°歩° (ぼぼ)」

(仙台市泉区南中山 2-2-3 TEL 022-348-4887)

様を紹介します!

「ワークスペース歩°歩°」(平成20年9月開所)

主に発達障害のある方の一般就労へ向けた訓練を行っております。

□事業所設立の経緯について理事の中村様にお聞きしました。

最初からこのような事業所を作ろうとしていたのではなく最初は未就学～高校生の地域でのつどいの場(主に放課後)を提供していました。身体障害や重複して障害がある方が当初は多かったのですが、だんだん発達障害という新しい特性のある方が増えてきました。そこで専門機関である「仙台市発達相談支援センター(アーチル)」に相談しながら手探りで支援をしてきました。その過程で今まで「居場所」として利用していた方から「就労」への希望がでてきたので就労移行支援事業所として「ワークスペース歩°歩°」を開所しました。

スタッフ紹介

【新スタッフ】



小松 美穂 (こまつ みほ)
仙台市太白障害者福祉センターから異動してきました。よろしくお願いします。



宮城 弘幸 (みやぎ ひろゆき)
主に職場開拓を担当します。趣味はテニスと料理で、食べるのが大好きです。



佐藤明里沙 (さとう ありさ)
主に相談支援を担当します。日々勉強しながら業務にあたります。



木村 緑 (きむら みどり)
仙台市役所 (チャレンジオフィス) でジョブコーチをしています。

今年度の体制は下記の通りになります。

所長	: 諸橋 悟
主事	: 小松美穂
主任支援員	: 馬場美和
支援員	: 新井弘美
相談支援担当	: 齋藤真理
	: 齋藤百恵
	: 佐藤明里沙
職場開拓担当	: 貫洞正一
	: 宮城弘幸
ジョブコーチ	: 木村 緑

今年度もよろしくお願いいたします!!

仙台市障害者就労支援センター利用案内

■ 利用時間:

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	8:30～17:00	休み
電話相談・移動相談	8:30～19:30	8:30～17:00

※ 年末年始 (12/29～1/3) は休みとなります。

※ 土日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

日程等は仙台市障害者就労支援センターへお問い合わせください。

■ 相談方法: 来所・電話・FAX・Eメールにて受け付けております。

※ 来所は原則として予約制です。

■ 費用: 相談・支援サービスは無料です。

※ 実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

■ 対象となる方: 仙台市にお住まいの15歳以上の障害のある方で就労希望もしくは就労中の方。

※ ご家族・事業主様からの相談もお受けします。 ※ 障害者手帳の有無は問いません。

発行: 仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者: 財団法人仙台市障害者福祉協会)

〒981-3133

仙台市泉区泉中央2丁目1-1 泉区役所東庁舎5階

電話 : 022-772-5517

FAX : 022-772-5519

Eメール: info@sendai-wsc.jp

HP : <http://www.sendai-wsc.jp>

編集後記

本来であれば3月に発行する予定でしたが、震災の影響で3ヵ月遅れの発行となりました。仙台を含む被災地で就労中もしくは就労を目指す障害者の一助となるよう今後も事業主・関係機関のご協力を頂きながらサポートさせていただきます。